

vNOTES (Vaginal Natural Orifice Transluminal Endoscopic Surgery) の導入

vNOTES とは、腹腔鏡のカメラや鉗子など全てを膣から挿入し、摘出組織も膣から取り出すことにより、腹部に傷が一つもない腹腔鏡手術です。

従来の腹腔鏡手術では、腹部に 3~4 か所、5~10mm 程度切開し、そこからカメラや鉗子を挿入して手術を行います。摘出した組織は腹部の創から取り出す場合と、膣から取り出す場合がありますが、やはり開腹手術に比べると低侵襲の手術です。

vNOTES では腹部に傷を作らずに手術を行うことができるため、さらに低侵襲手術となり、術後の痛みが軽く、早期社会復帰が可能です。

当院では vNOTES を 2022 年 6 月から行なっています。全ての患者様が対象になるわけではありませんが、従来の開腹手術や通常の腹腔鏡手術でしかできなかつた手術も、vNOTES で行なえるものが増えてきています。

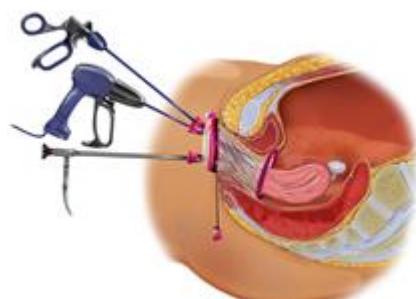
対象疾患は子宮筋腫、子宮頸部上皮内腫瘍、異型子宮内膜増殖症、初期の子宮頸がん、子宮体がん等で子宮全摘出術を要する症例です。

詳しくは、当院婦人科外来までお問い合わせください。

国際医療福祉大学 医学部 産婦人科学 教授

国際医療福祉大学病院 産婦人科 部長

柿沼敏行



© 2021 Applied Medical Resources Corporation. All rights reserved.